

# このひとをじっくり見ますか？

## 第15回

し、明治五(一八九二)年、七〇歳で亡くなりました。



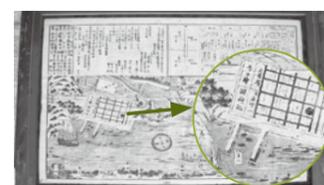
▲笹井万太郎の墓(高島市内)

### 笹井万太郎 ささい まんたろう

(文政6年頃～明治25年)

笹井万太郎は、文政六(一八二二)年頃、武州高島村(現在の深谷市高島)に生まれました。名は敏捷、万太郎は通称で、石洲と号しました。家は、代々農業を営み、名主を務める家でした。万太郎は、若い頃から学問を好み、儒教の教えと歴史に通じていました。常々、「国益のことを考えない者は優れた人物ではない」と語り、江戸時代の末期奮い立つように郷里を離れ、江戸へ出ました。当時の日本にはアメリカの黒船が来航し、幕府は開国を求められていました。安政五(一八五八)年の日米修好通商条約で、『神奈川』を開港することが定められました。幕府は、東海道に直結していた『神奈川湊』を避け、対岸の横浜村を開港地と決定します。翌年には、横浜港が開港されましたが、漁村だった横浜に国際港を整備することがいかに大事業で

あったかは容易に想像できません。万太郎は、この横浜港の建設に関わり、波止場の造成工事を一万六千八十両(現在の三十四〜三十五億円)で請け負いました。波止場と運上所は、港の心臓部といえる施設で、東西二本の波止場が運上所の正面に築かれ、それぞれ長さ百メートル、幅十八メートル、高さ一・五メートルの石垣組みだったと伝えられています。この波止場は、横浜港の発展とともに、『象の鼻』と呼ばれる曲線形の防波堤に姿を変え、今日の大根橋埠頭の基部となっています。幕府は、波止場の完成を賞して、万太郎に港の近くの土地を与えました。万太郎が、どのような経緯や思いでこの工事を請け負ったかは明らかになっていませんが、開国への熱い思いを持っていただけで、晩年、私利を捨て公益を選択し、富める者は社会に対する責任を心



▲横浜港開港を伝える瓦版、円内が波止場部分の拡大(個人所有)

得るべきことを述べており、そのような考えに基づいていたことが想像されます。開港した横浜港は、主力輸出品であった生糸の中心的貿易港となり、時代が進むと京浜工業地帯の国際貿易港として拡大し、日本の発展と近代化に寄与します。また横浜は、鎖国から転換した日本の国際化を象徴する街として発展していきました。万太郎は、明治維新後、深谷に戻りましたが、横浜港を築港した知識や経験を買われ、広く地元も管轄する岩鼻(現在の群馬県から埼玉県の一部)の堤防取締役を務めたほか、畜産組合の頭取を歴任

### 用語の手引き

- 『日米修好通商条約』  
安政5(1858)年に日本とアメリカの間で結ばれた条約。アメリカ側に領事裁判権を認め、日本に関税自主権がなかったため、一般に不平等条約といわれました。平等な条約に改正されたのは、明治44(1911)年でした。
- 『運上所』  
現在の税関、港湾管理、外交を担当した役所

※本コーナーの全編を通じて、登場する人物については、歴史上の人物としてその敬称を略します。

# 市長の深い話

深谷市長 小島 進



## 熱中症に「注意」を

これから、本格的な梅雨の時期を迎え、また梅雨が明ければ暑い夏がやってきます。夏て気をつけなくてはならないのは、「熱中症」です。熱中症は、高温多湿な環境で活動する時だけでなく、日常生活でも発症する危険があります。特に梅雨明けで急に暑くなる日は、体が暑さに慣れていないため要注意です。

また、体温調整機能が低下している高齢者や、まだ調整機能が十分に発達していない乳幼児は、成人よりも発症のリスクが高く、特に注意が必要です。

今月の広報ふかや22ページと裏表紙には、熱中症に関する予防方法や、万が一発症した際の対応方法を掲載しています。ぜひご覧いただき、この機会に家庭や職場などで、熱中症予防について話し合ってみてください。

市では、熱中症予防対策を総合的に進めるため、関係部局の連携を強化し、必要な対策が講じられるよう、『深谷市熱中症予防対策本部』を設置しています。

本年度も、防災行政無線による注意喚起や、暑さをしのぐための一時的な休息場所「クールオアシス」の開設など、さまざまな取り組みを行います。

このように、毎年市では、熱中症に関する注意の呼びかけや対策を進めています。最も大切なのは、一人ひとりが熱中症予防を心掛けていただくことです。そして、自分だけでなく、周りの人の体調にも気配りをして、互いに予防に努めましょう。

今年も猛暑日が続くことが予想されますが、こまめな水分補給やエアコンの活用、そして周りへの気配りなどを心掛け、暑い夏を上手に乗り切りましょう。

### ありがとうの手紙



最優秀賞  
中学生の部  
親友へ

川本中学校2年(現3年) 飯野隼人さん

親友は、いつも僕の一步前にいる。サッカーを始めたのは同じくらいなのに、親友はいつも僕の一步前を行っている。「追いついた!」と思っても、すぐに親友は一步先に行ってしまう。くやしい。けど、感謝もしている。親友が自分の前にいる。それは、目標があるということ。追いつくために努力をし、自分の力を高められる。

親友は、よき友達。そして目標。そんな親友に感謝している。「サンキュー親友。」でも、絶対追いつく。

### みんなの声BOX

Q 国際化に伴う子どもたちへの外国語指導は、どのように行われていますか？

A 異文化、国際理解のため小学校1年生から中学校3年生までを対象に、外国語指導助手による英語教育を行っています。

本年度からは、外国語指導助手による年間の延べ授業日数を、平成27年度の170日から200日に拡充しました。

また、外国籍児童生徒のための日本語指導も行っています。

#### 問い合わせ

学校教育課 ☎572-9578